

## 立川高校をめざす君へ

東京都立立川高等学校長  
下 條 隆 史

本校は、明治34年（1901年）に東京府立第二中学校として創立され、今年で110年目を迎えました。この間、多摩地域の中核を担い、将来、国家及び社会の有為な形成者として必要とされる資質を育成する教育を推進してきました。現在、卒業生は2万7千名を超え、国内はもとより、世界の各方面で活躍しています。

長い歴史と伝統を土台に、平成16年度からは東京都教育委員会の進学指導重点校に指定を受けました。今春で指定後6回目の卒業生を出しましたが、伝統である自主性・自律性を高める教育の工夫に加えて、高い志の進路希望の実現を図る教育が強化され、めざましい進学実績をあげております。今年度も、その質的充実・難関国公立大学への進学を目指して様々な取組を行っています。

入学者選抜においては、学力検査5教科のうち、国語、数学、英語は、本校独自に作成した問題を出題します。このことによって、中学校での基礎・基本を基にした「思考力、判断力、応用力、表現力」をもっているかを確認します。また、自校作成問題に敢えて挑戦するという気持ちを大切にして、高い志と力強い意志、そして、卒業後の進路希望実現に挑戦できる学力と見識を身に付けさせ、人間性を育て上げるという本校の教育に対して、期待にこたえられる資質や可能性をもっているかを確認します。

また、推薦に基づく選抜での「小論文検査の実施」や学力検査に基づく選抜での「学力検査7：調査書3での実施」、「特別選考（1割を学力検査の合計点のみで選抜）の実施」等の取組も進めてきました。これらは、本校が難関大学進学を重視した高校として、一層充実した教育を進めるねらいに基づくものです。

24年度からは、新学習指導要領の改訂にあたり、今まで以上に国立大学（特に難関国立大学も含め）を視野に入れた学習内容に変更します。そのため、学校での学習時間を大幅に増加させ、土曜日授業を行います。また、1、2学年では、国語、数学、英語の学習時間を学習指導要領で定められた時間よりも増やして実施します。このことによって、基礎学力をアップさせ、応用力を磨く時間を創出します。さらに、3学年全員が各自の進学に応じた数学の科目を学習し、1、2年次までに全員が理科4科目の学習ができるようにしました。結果、ほとんどの科目を一通り、学習することが可能になりました。

夏季休業中などの補習や講習は充実しています。また、放課後や土日なども計画的に講習が行われています。このことで、授業時間では不足していた学習を補ったり、応用力を磨くことができます。本校では、落ち着いて緊張感ある授業が進められ、総合的な学習の時間も活用して、全教員が進路指導に関わる等、面倒見のよい教育を展開しています。

また、30の部活動が活発に行われています。そして、企画・運営・総括にいたるまですべてを生徒が自主的に運営する学校行事や委員会活動も盛んに行われています。

このように、本校は、部活動や行事に燃え、何事にも果敢に挑戦し、高い進路実現を達成するための学習できる環境が整っています。

本校へ入学して、君の高い目標実現を図るとともに、立高のさらなる発展のために、是非一緒になって、新しい息吹を吹き込んでくれることを強く希望しています。